



がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけでなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなども行っています。



神経内分泌腫瘍 (NET)

～専門外来だからできること～



順天堂大学
医学部外科学教室・
消化器外科学講座
先任准教授

三瀬 祥弘

2022年4月、順天堂医院に神経内分泌腫瘍 (NET) 専門外来が創設されました。今回は、当院の「NET専門外来」についてご紹介します。

神経内分泌腫瘍 (Neuroendocrine tumor) とは、神経内分泌細胞と呼ばれる、ホルモンなどを分泌する細胞に由来する腫瘍です。まれな疾患ですが、診断される人の数は増加傾向にあります。2005年と2010年に、膵臓と消化管に発生するNETについて全国調査が行われました。その5年間で、膵臓のNETは1.2倍、消化管のNETは1.8倍に患者数が増えました。現在、全国で年間に膵臓NETは1600人、消化管NETは4400人が新たに診断されています。

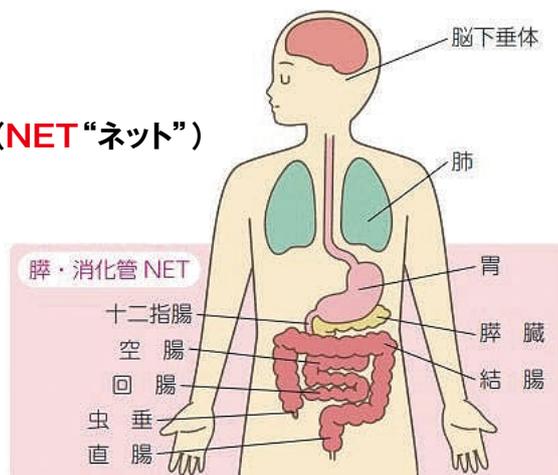
神経内分泌細胞は全身に分布するため、NETの特徴として、あらゆる臓器から発生することがあげられます (図1)。ですので、様々な専門領域の診療科が治療を行う必要があります。NET専門外来は、その窓口として機能し、患者さんの状態に応じて円滑に治療を進めます。

(図1)
神経内分泌腫瘍
Neuro Endocrine Tumor (NET “ネット”)

色々な臓器に発生



様々な診療科の関与が必要





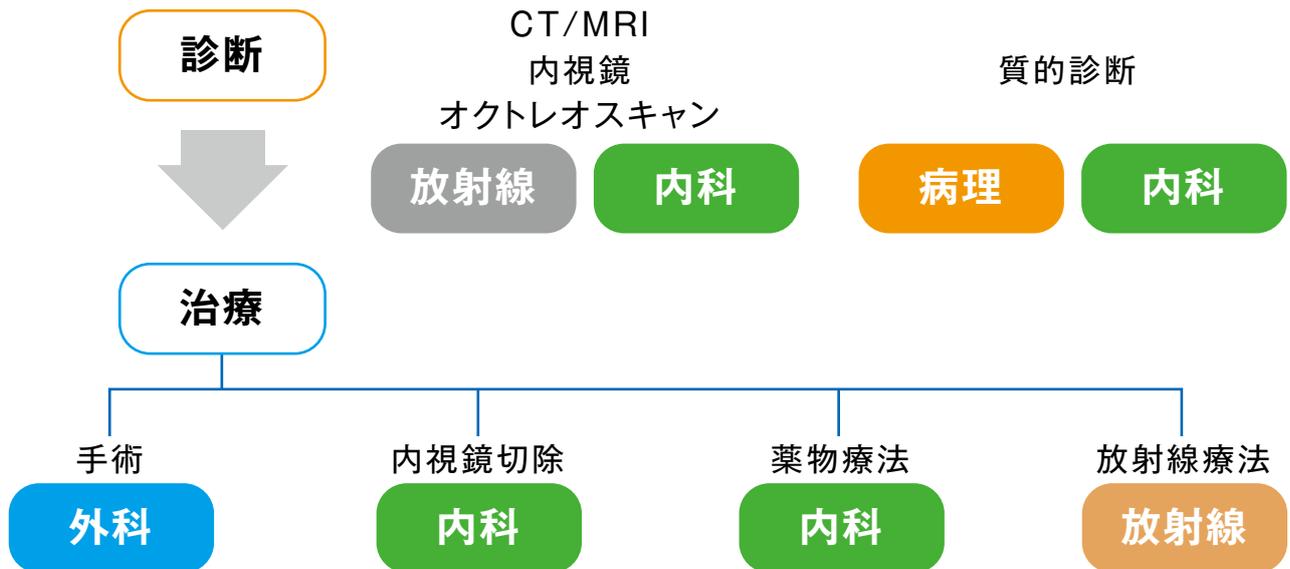
NETのもう1つの特徴として、診断・治療が複雑なことが挙げられます。

NETの診断には、まずCT検査や内視鏡で腫瘍の場所を同定する必要があります。さらに、腫瘍細胞を採取してその顔つき(悪性度)を判定しなければいけません。

腫瘍の診断がついたら、それに基づいて適切な治療を選択します。NETの治療方法は多岐にわたり、腫瘍の場所・大きさ、悪性度によって、手術、内視鏡切除、薬物療法、放射線治療が選択されます(図2)。

(図2)

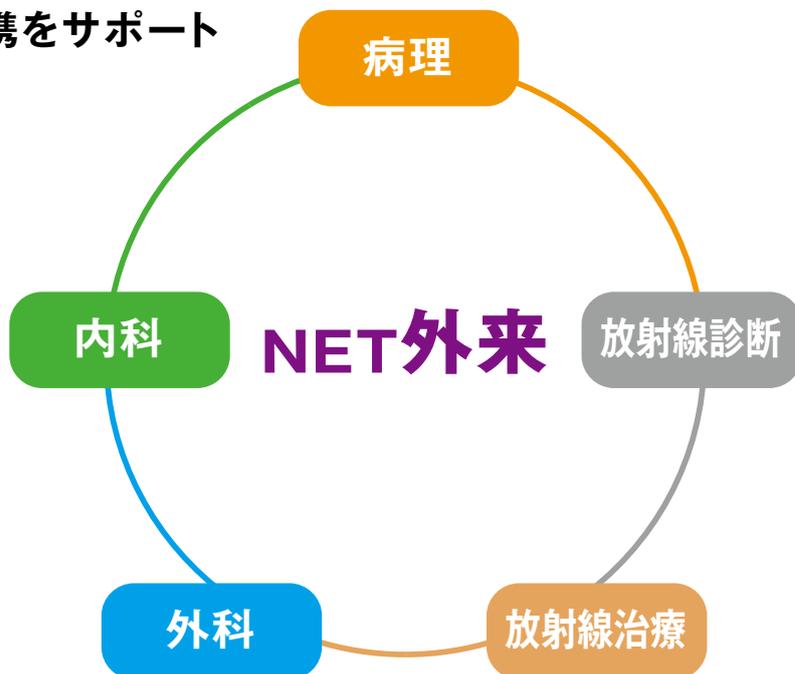
診断・治療が複雑



診断から治療に至るまで、様々な診療科が関与する必要があり、NET専門外来がその連携をサポートします(図3)。

(図3)

診療科の連携をサポート

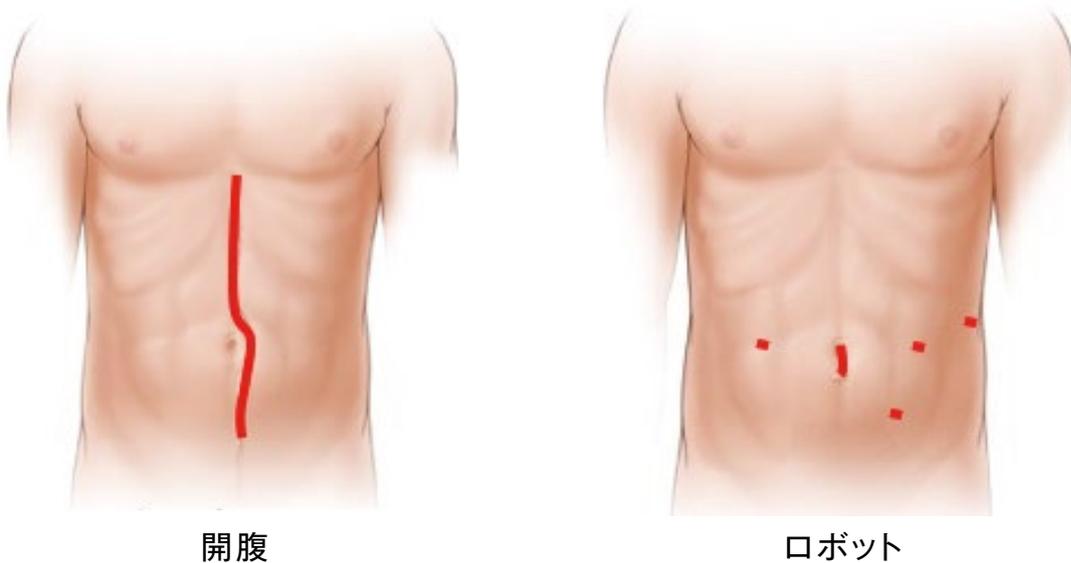




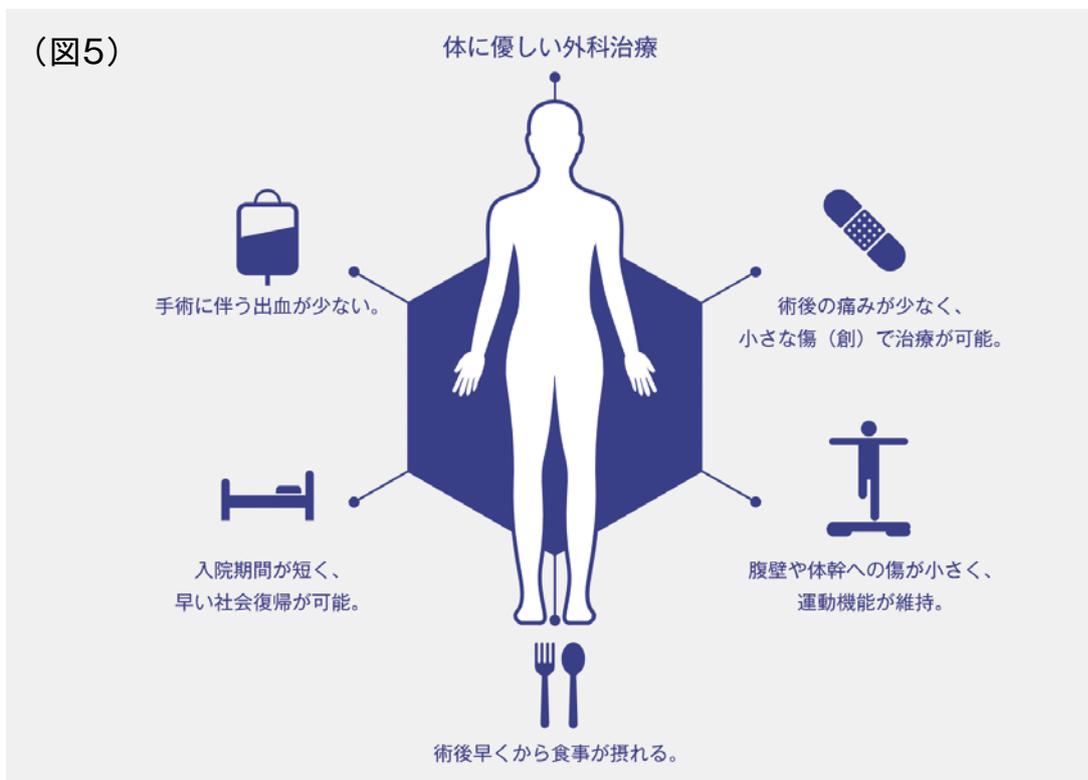
NETの手術治療では、小さな傷で行う低侵襲手術が適応となる場合が多いです。多くの診療科で、最先端のロボット手術を積極的に行っていることも、順天堂医院の強みのひとつです。

(図4)は、従来行われていたお腹の開腹手術とロボット手術の傷を示しています。

(図4)
傷の小さなロボット手術



小さな傷で身体に優しい手術を行う事で、患者さんに様々なメリットがあります(図5)。



NETはまれな疾患ですが、診断される人は年々増加しています。順天堂医院の総合力でNETに対応できるよう、専門外来を創設いたしました。ぜひお気軽にご相談ください。



外来化学療法中の患者さんへ ～出張型栄養指導のご案内～

栄養部 がん病態栄養専門管理栄養士
大脇 真有



がん患者さんの約半数は体重が減少と言われています。体重が減少すると、治療による副作用が強くなったり、疲れやすくなったり、体力の低下から化学療法の継続が困難になるなど、予後の悪化も懸念されます。そのため、適正な体重を維持することはがん治療を続けていく上で非常に重要と言えます。



その様な背景から、当院ではがん治療中の患者さんに対し積極的に栄養サポートを行っています。その一環として、2022年10月から外来化学療法中の患者さん向けに『**出張型栄養指導**』を開始しました。通常の外来栄養指導との違いは、①がんの専門知識を持った専任の管理栄養士が担当する、②担当栄養士が出向いて外来化学療法室(または併設のがん治療センター)で指導を行うため、患者さんはほぼ移動する必要が無い、③化学療法中の待ち時間を有効に活用できる、といった点です。

化学療法中は食欲不振のほか、悪心、口内炎、味覚障害、下痢や便秘といった様々な症状が出現します。気になることがありましたら、是非お気軽にスタッフまでお声掛けください。

※化学療法室で、右記の案内チラシをお配りしています。



外来化学療法中の患者さん限定

お食事でお困りのことはありますか？

相談内容の例

- ・がん治療を始めてから食欲が落ちた
- ・薬の影響で味覚が変わってしまった
- ・食べているのに体重が増えない etc...

がん治療専門の管理栄養士が皆様のお困りごとにつきまして、

出張型栄養指導ですので、化学療法中の待ち時間を有効に活用できます。
(別途、個室での指導も可能です)

対応時間

毎週木曜 9:00～17:00 (その他は応相談)

費用

各自の保険の負担割合による(概ね300～800円前後)



Point 1

当日
予約可

Point 2

ほぼ
移動なしで
相談できます

Point 3

ご家族と一緒に
相談が受けられ
ます

ご興味のある方は、化学療法室のスタッフまでお声かけ下さい。

ミニレクチャーのご案内

患者さんやご家族の方々が病気やその治療について理解を深めていただけるよう、テーマを決めて定期的に動画配信を行っています。

2020年7月までは、会場にお越しいただき、講演後には質疑応答の時間を設けておりましたが、2020年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信とさせていただきます。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



2022年9月配信

「痛みとペインクリニック」

ペインクリニック

清水 礼佳

2022年12月配信

「がん疼痛緩和(がんに直接起因する痛み)【仮題】

麻酔科・ペインクリニック

濱岡 早枝子

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/mini/>

順天堂医院 がん治療センターミニレクチャー | 検索



市民公開講座のご案内

12月3日(土)に開催しました。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。

講演

「胃がん ～見つけるために行うこと、見つかってから行うこと～」

消化器内科 福嶋 浩文 准教授

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください(過去の市民公開講座もご覧いただけます)。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/answer/>

順天堂医院 がん治療センター 市民公開講座映像 | 検索



オンラインがん茶論のご案内

「がん茶論」は、患者さんご家族が主役の会です。

今気になっていることを話し合ったり、他の人の経験を聞いて参考にしたり、がんと共に生活する上で役立つ情報を聞いたりする会です。

新型コロナウイルスの影響で、休止しておりましたが、2021年11月よりオンラインで再開いたしました。

事前申し込み制となっておりますので、下記URLをご参照の上、「順天堂医院オンラインがん茶論申し込みフォーム」よりお申し込みください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/salon/>

順天堂医院 がん治療センター がん茶論 | 検索



▶ お問い合わせ・・・03-5802-8196



旬の食材

今回は「黒豆」についてご紹介します。

栄養部 杉本 栄

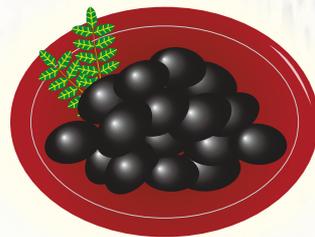
おせち料理の定番の一つ、黒豆。

黒豆の原材料である黒大豆は、大豆の一種です。大豆は、畑の肉と言われるくらい良質な植物性たんぱく質を豊富に含みます。また、不溶性食物繊維やオリゴ糖も含み、腸内環境を整える作用も期待できる他、カルシウムや鉄、カリウムなどのミネラルが豊富です。

黒大豆の特徴である表面の黒い皮には、アントシアニンと呼ばれる抗酸化作用のあるポリフェノールの一種が含まれ、老化やがんの原因となる活性酸素の発生を抑制する働きがあることも大きな特徴です。

このように栄養成分の豊富な黒豆、お正月の煮豆だけでなく、季節を問わず摂取してはいかがでしょうか。

普段使用している黄大豆の代わりに、五目豆や酢漬けなどの料理に使用するのもお勧めです。



がん治療センターニュースレター

[2023年1月 第41号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>

